

Poco a poco

【バンドクリニックがありました！】

6月9日(土)の午前中、東海大学付属第四高等学校吹奏楽部の井田重芳先生をお招きして、バンドクリニックを開催しました。

バンドクリニックとは、普段なかなかお呼びすることのできない著名な吹奏楽指導の先生から指導を受け、今後の活動に役立てようという田川地区吹奏楽連盟のイベントのことです。

当日は朝早く準備を始め、9時から12時までミッチリ指導を受けました。専門用語が多く、ついていくのに大変だった場面も見られましたが、有意義な1日になったと思われまます。保護者の皆さま、ご協力ありがとうございました。

【羽黒高校吹奏楽部さんと合同練習をしました！】

6月11日(月)の放課後、羽黒高校吹奏楽部さんと合同練習会を行いました。羽黒高校さんが約30人、庄農は15人、2校合わせると約45人という大編成並みの人数で合奏練習をしました。

羽黒高校吹奏楽部さんは、東北大会出場校 & 30人という大人数・・・。

始まる前は、

部員「どうしよう、緊張してきたあ。」

堀「だ、だいじょうだ・・・。」

部員「怖いよお・・・。」

堀「な、なんとかなる・・・。ああ・・・、おなか痛い・・・。」



という、なんとも情けない状況でしたが、いざ羽黒高校さんが到着すると、

庄農部員一同「こんにちは！！ 今日よろしくお願ひします！！」

緊張してないじゃん！！(笑)

・・・ここまでは笑い話ですが、合同練習はどうだったかといいますと、少人数バンドならではの悩みや難しさから考え出された練習方法を一緒に吹いてみるという内容でした。その練習の中で、羽黒高校の先生がおっしゃった気になった言葉をいくつかご紹介します。

- ・羽黒高校吹奏楽部は5年前、もっとひどい状態だった。ケータイをいじりながら、部室で遊びながらの「練習」というよりは「お遊び」だった。部活はお遊びではなく、あくまで部活動である。

(先生は1年目、部活を変えるため、生徒たちと腹を割ってケンカしたそうです。)

- ・大事なものは「技術」よりも「心」。

「心」を鍛えるには ①出欠確認をしっかりすること。無断欠席を無くすこと。

②大きな声であいさつすること。きちんと反応すること。

- ・気づかいはできる人間は強い。どんなところに行っても通用する。

だからこそ、学校や家庭で「気づかい」の練習を。

あいさつ、返事、出欠確認はすべて「気づかい」につながっている。

裏に続きます。

- ・羽黒高校が頑張っていることは、世間から見たら当たり前のこと。

でも、当たり前のことを続けるのはとても難しい。

ただただ、なるほど・・・、と思ひ当たることばかりでした。

最後にもう一つエピソードを。

羽黒高校さんが帰るとき、学校へ戻るグループとそのまま庄農で解散するグループに別れてました。庄農で解散するグループはそのまま帰るのかな？ と思っていましたが、羽黒高校のバスを見送ってから、また庄農の校舎に戻ってきてくれ、

「堀先生、なにか私達に手伝えることはないでしょうか？」
と言ってくれました。

これが「気づかい」ができる人間なんだなあ、と感心してしまいました。

今度はぜひ羽黒高校さんへお邪魔してみたい！！ そう感じた合同練習でした。
家庭の中でもぜひ合同練習がどうだったか、聞いてみていただきたいと思います。
(中間テストも頑張りましょう！)



↑

これが、実は緊張していなかったという問題のシーンです。



↑ 部屋いっぱいの人、人、人！！



← 羽黒高校の先生から
レッスンを受けました。
ためになるお話ばかりでした。

(文責 堀)